

# 歴史的事象を比較・関連付けて考える力を高める指導の工夫

— 歴史上の人物の顕著な特色を主張する「マネージャー活動」を取り入れて —

社会科班 橋本 光晴 (小学校教諭)



## 児童の実態

- 歴史の学習に対して受け身
- 課題に即して考えを深めていくことが苦手

## 教師の願い

- 比較・関連付けて考える力を高めたい
- 主体的に考える手だての工夫が必要



歴史上の人物の業績を他の人物の業績と比較し、顕著な特色を主張する「マネージャー活動」を取り入れよう！

## マネージャー活動

追究する

### 調べ学習

担当する人物の学習課題にその業績を教科書・資料集・書物から調べる。



木戸孝允のこの業績で日本が強くなったかな？

板垣退助のこの業績は人々の生活をよくしたかな？

### 比較・関連付け

他の人物の業績と比較したり、現代の社会の様子と関連付けたりして、**業績の価値の判断基準**に合うことを顕著な特色として見いだす。

「その業績により日本が強くなったか」  
「その業績で人々の生活がよかったか」  
「その業績は現代の社会にもよい影響をもたらしているか」

まとめる

### チラシ作り

見いだした特色と自分の考えを交えて、担当する人物のよさを主張するチラシを作成する。



他の人物と比較して見いだした。

### 意見交流

自分の考えを主張して友達に意見をもらったり、友達の主張を聞いたりと、新たな見方や考え方をもつ。

板垣退助の業績より福沢諭吉の業績の方が現代に通じて重要だな



## 成果

- ・ 全員が主体的に学習に取り組み、人物の特色を見いだすことができた。
- ・ 「マネージャー活動」を取り入れたことで、歴史上の人物の現代社会との関連を見いだすことができた。
- ・ 自分が担当した歴史上の人物の優位な部分を主張するために、友達の考えをしっかりと聞き、考えを比べることができるようになった。

比較・関連付けて考える力が高まった。

## 課題

- ・ 意見交流後にチラシを修正する時間を設けたり、すべての人物について意見交流できるように班分けを考えたりと、「マネージャー活動」のさらなる工夫や改善が必要である。